

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習	
科 目 名	評価実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (4) 時間(単位)	
対 象 学 年	昼間部3年	学 期	前期	教室名	各実習施設	
担 当 教 員	宇留島 嵩人					
実務経験と その関連資格	理学療法士として愛仁会高槻病院(急性期)で2年間勤務。その後尼崎だいもつ病院(回復期)で3年間勤務し、急性期、スポーツ外来、回復期、療養病棟でのリハビリを経験。運動器認定理学療法士取得済み。運動器疾患を100例以上担当。福祉住環境コーディネーター2級取得。心電図検定2級取得。スポーツ医学検定1級取得。本校にて国家試験対策講義を担当。					
《授業科目における学習内容》						
診療のチームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で理学療法評価・治療を実施する。評価実習後、学校で1症例についてレジメを作成し、実習報告会にてその成果を発表してもらう。						
《成績評価の方法と基準》						
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける。理学療法士として働く事を意識し、自分はどのような職場で働き、どのような理学療法士になりたいかを考えて行動すること。学生として患者様に出来ることを出来る限りできるように、しっかりと事前準備をすること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定	各実習施設において160時間の臨床実習				
第2回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定					
第3回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定					
第4回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定					
第5回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			